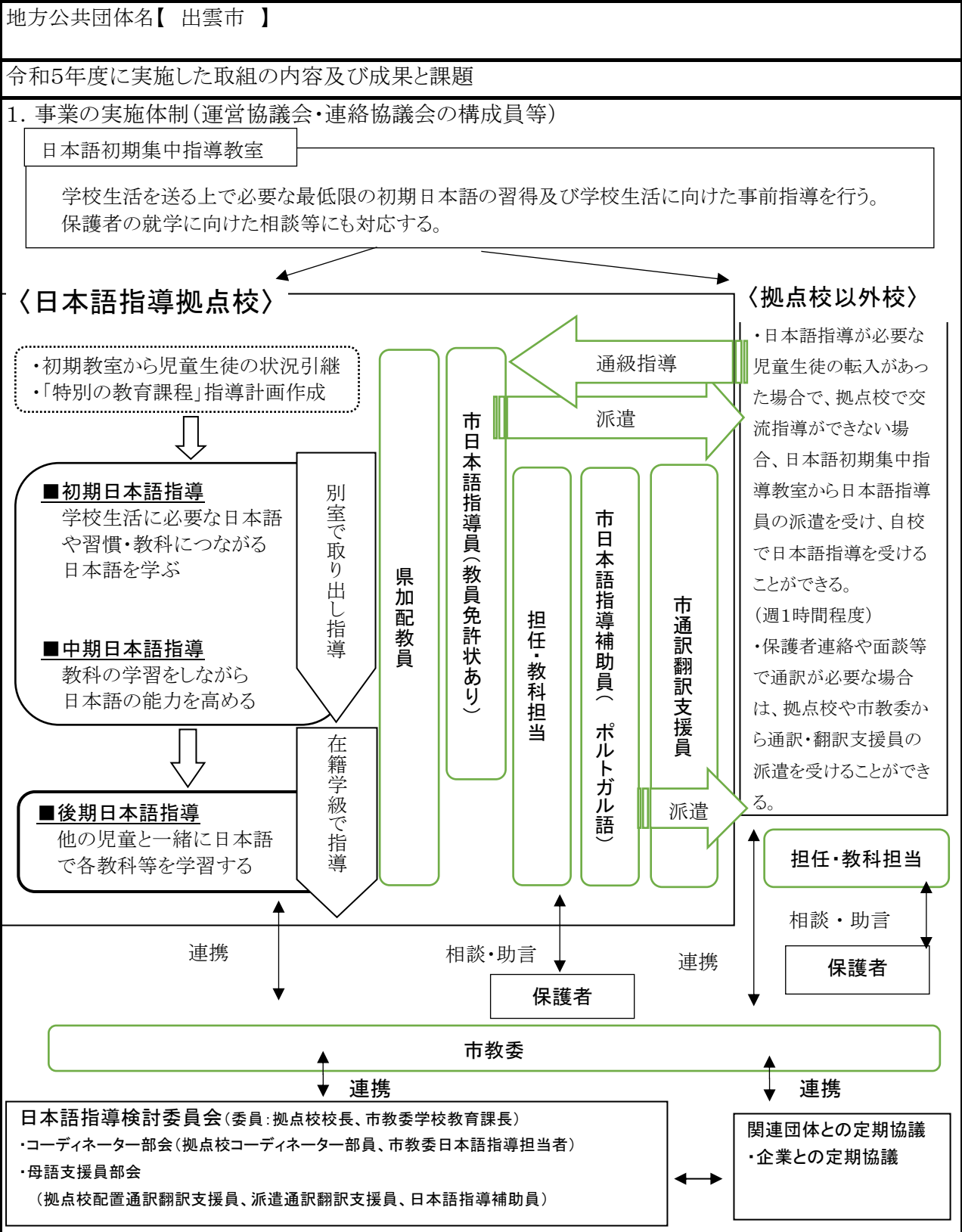


令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)  
 事業内容報告書の概要



<p>本事業で連携予定の多様な関係者 ※大学、企業、非営利法人（公益法人を含む）、ボランティア団体などを記入すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出雲村田製作所</li> <li>・ 株式会社アバンセコーポレーション</li> <li>・ フジアルテ株式会社</li> <li>・ しまね国際センター</li> <li>・ 島根県教育委員会</li> <li>・ 島根県環境生活部文化国際課</li> </ul>
<p><b>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</b></p>	
<p>(1) 運営協議会・連絡協議会の実施</p>	
<p>【運営協議会】</p>	
<p>○日本語指導に係る検討委員会（構成員：日本語指導拠点校長6人、【事務局：学校教育課】）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：3回</li> <li>・実施目的：市内の日本語指導についての現状と課題の協議</li> <li>・協議内容：令和5年度の日本語指導支援状況、外国にルーツをもつ児童生徒の特別支援教育、中学生の進路保障等</li> </ul>	
<p>○企業との定期協議（構成員：企業関係者等、学校教育課担当者）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：3回</li> <li>・実施目的：市内の外国人労働者の現状や日本語指導が必要な児童生徒の転入状況等の協議</li> <li>・協議内容：外国人労働者およびその家族の日本への転入見通し、保護者対応等</li> </ul>	
<p>【連絡協議会】</p>	
<p>○日本語指導に係る検討委員会の専門部会（コーディネーター部会、母語支援員部会）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数：コーディネーター部会2回、母語支援員部会3回</li> <li>・実施目的：拠点校間での情報共有やキャリア教育についての検討、母語支援員の通訳スキル向上を図るため。</li> <li>・協議内容：個別指導計画の作成方法やアセスメントの実施方法（回数）等についての情報交換、市教委主催キャリア教育の実施内容の検討、通訳翻訳の対応状況、研修等</li> </ul>	
<p>(2) 学校における指導体制の構築（必須実施項目）</p>	
<p>○日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する小学校3校（塩冶小学校、四絡小学校、中部小学校）と中学校3校（第二中学校、第三中学校、斐川西中学校）を日本語指導拠点校（以下「拠点校」という。）と位置づけ、市日本語指導員（教員免許状所有者）、通訳翻訳支援員（ポルトガル語）および企業派遣通訳翻訳支援員、市日本語指導補助員（日本語・ポルトガル語が話せる支援者 ※教員免許状は無し）を集中的に配置した。</p>	
<p>○来日または帰国後間もない児童生徒で初期からの日本語指導を必要とする者については、在籍校での学校生活をスタートさせるにあたり、20日間、初期集中指導教室に通級させ、サバイバル日本語の習得および学校生活に必要なルール・マナーについて指導した。</p>	
<p>(3) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施（必須実施項目）</p>	
<p>○個別の指導計画を作成し、「特別の教育課程」による日本語指導を実施した。 4月：在籍校における対象児童生徒の実態をもとに「特別の教育課程」の編成、指導実践 9月～2月：個別の指導計画の見直し、必要に応じた修正 2月～3月：達成目標の評価、次年度に向けた指導計画の見直し</p>	
<p>(4) 成果の普及（必須実施項目）</p>	
<p>○出雲市教育委員会学校教育課ホームページで、今年度の取組状況と成果を公表（3月末）。</p>	
<p>(5) 学力保障・進路指導【重点実施項目】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○拠点校での外国籍ロールモデル人材による特別授業の実施</li> <li>○日本語指導が必要な中学生対象の高校見学会の実施</li> <li>○外国にルーツのある児童生徒の保護者対象の学校説明会の実施</li> </ul>	

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- 市日本語指導員(1200時間/年、900時間/年、740時間/年)の配置・派遣(小学校12人、中学校6人、初期教室2人)
- 市通訳翻訳支援員【ポルトガル語】(1581時間/年)の配置・派遣(小学校2人、中学校2人)
- 市日本語指導補助員【ポルトガル語】(1080時間/年)の配置(小学校3人、初期教室1人)

(13) その他(研修会の実施)

- 研修会の実施

【第1回 日本語指導教職員研修】

- ・参加者:市日本語指導員、県児童生徒支援加配(日本語指導)教員、担任、管理職(計:38人)
- ・内容:外国にルーツをもつ児童生徒への望ましい関わり方、支援の仕方等

【第2回 日本語指導教職員研修】

- ・参加者:市日本語指導員、県児童生徒支援加配(日本語指導)教員
- ・内容:JSLカリキュラムの意義、授業づくりの考え方、JSL5支援について

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。